



2019年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年1月10日

上場会社名 株式会社 中北製作所

上場取引所 東

コード番号 6496 URL <http://www.nakakita-s.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中北 健一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 林 昌宏

TEL 072-871-1331

四半期報告書提出予定日 2019年1月11日

配当支払開始予定日

2019年2月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第2四半期の業績(2018年6月1日～2018年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第2四半期	10,147	8.3	710	23.7	814	21.3	558	20.4
2018年5月期第2四半期	11,062	2.7	931	16.8	1,034	16.9	701	18.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第2四半期	153.45	
2018年5月期第2四半期	190.18	

(注) 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年5月期第2四半期	26,839	21,350	79.6	5,885.66
2018年5月期	27,352	21,206	77.5	5,782.21

(参考) 自己資本 2019年5月期第2四半期 21,350百万円 2018年5月期 21,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期		12.00		80.00	
2019年5月期		50.00			
2019年5月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2017年12月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2018年5月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合後の基準で換算した2018年5月期の1株当たり年間配当金は140円となります。

3. 2019年5月期の業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,500	15.1	1,200	28.7	1,380	25.5	950	25.0	261.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料) 7 ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期2Q	3,832,800 株	2018年5月期	3,832,800 株
期末自己株式数	2019年5月期2Q	205,297 株	2018年5月期	165,297 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年5月期2Q	3,638,931 株	2018年5月期2Q	3,687,785 株

(注) 当社は、2017年12月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、世界経済・為替相場変動等の様々な不確定要因により、予想数値と異なる可能性があります。

なお、詳細は(添付資料) 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
3. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、景気は緩やかな回復が続きましたが、米国の通商政策の動向などの影響も懸念され、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このような経営環境にあって当社は、新造船市況の冷え込みによる厳しい価格競争のなか受注獲得に努め、陸上関連においてもガスタービン発電プラントを始めとした新規発電プラント等へのバルブや既存プラントでご利用いただいております製品の修理やメンテナンス関連の受注獲得にも注力しました。また、社内においても、生産性向上に関する改革・改善に継続的に取り組んでおります。

当第2四半期累計期間における受注高は、9,980百万円(対前年同期比1.5%減)となり、155百万円前年同期を下回りました。品種別にみますと、自動調節弁4,751百万円、バタフライ弁2,752百万円、遠隔操作装置2,476百万円となり、対前年同期比では、バタフライ弁が1,095百万円減少しましたが、自動調節弁は786百万円、遠隔操作装置は153百万円の増加となりました。

売上高では、10,147百万円(対前年同期比8.3%減)となり、915百万円前年同期を下回りました。品種別では、自動調節弁4,271百万円、バタフライ弁2,979百万円、遠隔操作装置2,895百万円となり、対前年同期比では、自動調節弁が65百万円、バタフライ弁は733百万円、遠隔操作装置は116百万円の減少となりました。輸出関連の売上高は、1,087百万円となり、前年同期を1,217百万円下回りました。当第2四半期会計期間末の受注残高は期首に比べて166百万円減の10,028百万円となりました。

利益面では、経常利益は814百万円(対前年同期比21.3%減)、四半期純利益は558百万円(対前年同期比20.4%減)といずれも前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の総資産は、前期末と比べ513百万円減少の26,839百万円となりました。これは主として、現金及び預金が341百万円、有価証券が700百万円それぞれ増加したものの、売上債権が500百万円、たな卸資産が476百万円、投資有価証券が501百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前期末と比べ657百万円減少の5,488百万円となりました。これは主として、仕入債務が455百万円、未払法人税等が59百万円、流動負債のその他が137百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前期末と比べ143百万円増加の21,350百万円となりました。これは主として、四半期純利益が558百万円、配当金の支払293百万円により、利益剰余金が18,800百万円となったこと、自己株式の取得121百万円があったこと等によるものであります。

当第2四半期累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動によるキャッシュ・フローは主として、税引前四半期純利益が814百万円(対前年同期比21.3%減)であり、減価償却費145百万円(対前年同期比17.0%増)、売上債権の減少による収入500百万円(前年同期は売上債権の増加による支出5百万円)、たな卸資産の減少による収入476百万円(前年同期はたな卸資産の増加による支出44百万円)があった一方、仕入債務の減少による支出390百万円(前年同期は仕入債務の増加による収入187百万円)、法人税等の支払額314百万円(対前年同期比12.4%減)があったことにより、1,237百万円の収入(対前年同期比37.9%増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは主として、有価証券の償還による収入300百万円(対前年同期比40.0%減)、投資有価証券の償還による収入500百万円(対前年同期比160.4%増)があった一方、有価証券の取得による支出1,001百万円(対前年同期比740.3%増)、有形及び無形固定資産の取得による支出280百万円(対前年同期比37.6%増)があったことにより、481百万円の支出(対前年同期比270.8%増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは主として、自己株式の取得による支出121百万円(前年同期は0.9百万円の支出)、配当金の支払額293百万円(対前年同期比11.5%減)があったことにより、414百万円の支出(対前年同期比24.6%増)となりました。

以上により、現金及び現金同等物は期首と比べ341百万円の増加となり、当第2四半期会計期間末残高は3,442百万円(対前年同期比17.4%減)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月期の業績予想は、2018年12月28日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」のものと変更なく、売上高185億円、営業利益1,200百万円、経常利益1,380百万円、当期純利益950百万円の見通しとしました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,100,840	7,442,124
受取手形及び売掛金	6,566,684	5,926,533
電子記録債権	2,507,152	2,647,240
有価証券	300,912	1,001,587
商品及び製品	1,179,256	878,713
仕掛品	1,359,743	1,224,136
原材料及び貯蔵品	1,507,978	1,467,723
その他	512,822	525,568
貸倒引当金	△45,440	△42,910
流動資産合計	20,989,950	21,070,718
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,704,512	1,704,512
その他(純額)	1,583,268	1,492,482
有形固定資産合計	3,287,780	3,196,994
無形固定資産		
	40,223	41,878
投資その他の資産		
投資有価証券	2,777,322	2,275,356
その他	257,104	254,241
貸倒引当金	△138	△138
投資その他の資産合計	3,034,287	2,529,459
固定資産合計	6,362,291	5,768,333
資産合計	27,352,241	26,839,051
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,312,471	1,250,340
電子記録債務	2,437,440	2,044,368
短期借入金	800,000	800,000
賞与引当金	231,000	241,000
製品保証引当金	152,000	147,000
未払法人税等	338,469	278,784
その他	557,914	420,903
流動負債合計	5,829,296	5,182,396
固定負債		
退職給付引当金	203,895	193,296
役員退職慰労引当金	45,160	45,160
資産除去債務	38,533	38,860
その他	29,094	29,094
固定負債合計	316,683	306,411
負債合計	6,145,979	5,488,808

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年5月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,150,000	1,150,000
資本剰余金	1,479,586	1,479,586
利益剰余金	18,535,131	18,800,119
自己株式	△454,228	△575,228
株主資本合計	20,710,489	20,854,477
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	495,772	495,765
評価・換算差額等合計	495,772	495,765
純資産合計	21,206,262	21,350,243
負債純資産合計	27,352,241	26,839,051

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2017年6月1日 至2017年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)
売上高	11,062,612	10,147,244
売上原価	9,139,929	8,490,031
売上総利益	1,922,682	1,657,212
販売費及び一般管理費	991,261	946,637
営業利益	931,421	710,575
営業外収益		
受取利息	7,078	8,205
受取配当金	35,362	35,168
不動産賃貸料	64,388	64,388
為替差益	5,974	6,751
雑収入	12,060	9,331
営業外収益合計	124,863	123,845
営業外費用		
支払利息	2,597	1,750
不動産賃貸費用	18,863	17,795
雑損失	96	304
営業外費用合計	21,557	19,851
経常利益	1,034,727	814,569
税引前四半期純利益	1,034,727	814,569
法人税等	333,389	256,182
四半期純利益	701,338	558,387

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,034,727	814,569
減価償却費	124,743	145,957
貸倒引当金の増減額(△は減少)	30	△2,530
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,000	10,000
製品保証引当金の増減額(△は減少)	1,000	△5,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16,060	△10,598
受取利息及び受取配当金	△42,440	△43,374
支払利息	2,597	1,750
売上債権の増減額(△は増加)	△5,448	500,063
たな卸資産の増減額(△は増加)	△44,991	476,405
仕入債務の増減額(△は減少)	187,964	△390,398
その他	△68,242	10,080
小計	1,214,000	1,506,925
利息及び配当金の受取額	45,040	46,859
利息の支払額	△2,584	△1,760
法人税等の支払額	△359,105	△314,581
営業活動によるキャッシュ・フロー	897,351	1,237,442
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△500,000	—
有価証券の取得による支出	△119,233	△1,001,905
有価証券の償還による収入	500,000	300,000
投資有価証券の取得による支出	△300	△300
投資有価証券の償還による収入	192,000	500,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△203,647	△280,159
その他	1,261	587
投資活動によるキャッシュ・フロー	△129,918	△481,776
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△331,597	△293,381
自己株式の取得による支出	△916	△121,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△332,513	△414,381
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	434,918	341,284
現金及び現金同等物の期首残高	3,732,169	3,100,840
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,167,088	3,442,124

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社は、バルブ及び遠隔操作装置製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

1. 生産実績

(単位:千円)

期 別	2018年5月期第2四半期 (2017/6~2017/11)		2019年5月期第2四半期 (2018/6~2018/11)		2018年5月期 (2017/6~2018/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	4,303,089	39.2	4,090,690	42.1	8,762,851	40.7
バタフライ弁	3,684,315	33.6	2,853,726	29.4	6,893,316	32.1
遠隔操作装置	2,988,489	27.2	2,773,055	28.5	5,844,342	27.2
合 計	10,975,893	100.0	9,717,471	100.0	21,500,509	100.0

2. 受注状況

受注高

(単位:千円)

期 別	2018年5月期第2四半期 (2017/6~2017/11)		2019年5月期第2四半期 (2018/6~2018/11)		2018年5月期 (2017/6~2018/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	3,965,087	39.1	4,751,624	47.6	7,655,753	42.5
バタフライ弁	3,848,729	38.0	2,752,845	27.6	5,718,276	31.8
遠隔操作装置	2,322,871	22.9	2,476,429	24.8	4,630,693	25.7
合 計	10,136,687	100.0	9,980,898	100.0	18,004,722	100.0

受注残高

(単位:千円)

期 別	2018年5月期第2四半期 (2017/11)		2019年5月期第2四半期 (2018/11)		2018年5月期 (2018/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	4,285,871	32.8	3,913,447	39.0	3,433,431	33.7
バタフライ弁	4,866,435	37.3	3,236,691	32.3	3,463,783	34.0
遠隔操作装置	3,900,700	29.9	2,878,750	28.7	3,298,020	32.3
合 計	13,053,006	100.0	10,028,888	100.0	10,195,234	100.0

3. 販売実績

(単位:千円)

期 別	2018年5月期第2四半期 (2017/6~2017/11)		2019年5月期第2四半期 (2018/6~2018/11)		2018年5月期 (2017/6~2018/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	4,337,087	39.2	4,271,608	42.1	8,880,193	40.7
バタフライ弁	3,713,424	33.6	2,979,937	29.4	6,985,623	32.1
遠隔操作装置	3,012,101	27.2	2,895,699	28.5	5,922,603	27.2
合 計	11,062,612	100.0	10,147,244	100.0	21,788,419	100.0
うち輸出高	2,304,832	20.8	1,087,114	10.7	3,761,474	17.3